

救急医療情報キット

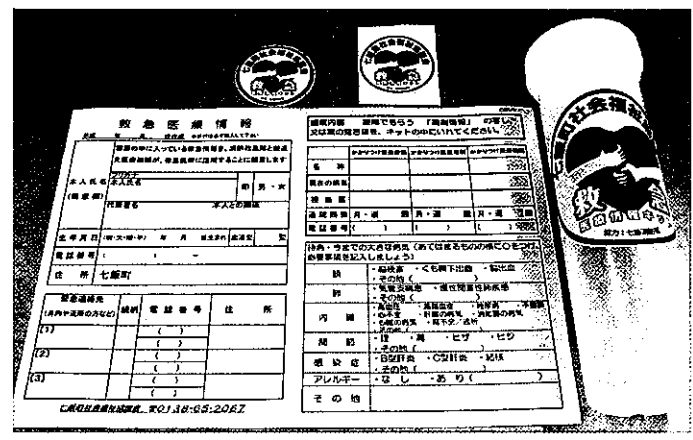
「命のボタン」作成しました。

もしも自宅で具合が悪くなったり、倒れてしまった場合、救急車を呼ぶ事になったら……。その時の安心と安全の補助をするのが救急医療情報キット「命のボタン」です。

東京都港区で08年に始まったとされ、全国的に広がっています。道内ではすでに夕張市、小樽市等が「命のボタン」に取り組んでいます。道南では七飯社協がはじめての取り組みです。



このキットはプラスチック製の円筒型容器（高さ22cm、直径6.5cm）となっていて、中に「持病」「服薬内容」「かかりつけの病院」「緊急連絡先」などを記載したA4サイズの医療情報用紙を入れて



おき、自宅の冷蔵庫に保管します。緊急時本人が病状などを説明できない場合、救急隊員が保管されたキットを基に正確な情報を把握し、迅速な救急活動が行えること、また親族等にいち早く連絡できるなど、たくさんのメリットがあります。

Qなぜ冷蔵庫に入れるの？

Aほとんどの家庭には冷蔵庫があります。駆けつけた救急隊員が救急医療情報キットを速やかに見つけ出すには、うってつけの場所です。

また、キットがあることを救急隊員に知らせる目印として玄関ドアの内側と冷蔵庫に目印のシールを貼っておきます。

Qどんな人が対象なの？

Aひとり暮らしのお年寄りや、お年寄りのみの世帯、障がい者世帯となります。

Qどうしたら手に入るの？

A申請書に必要事項を記入して、当協議会へ提出してください。

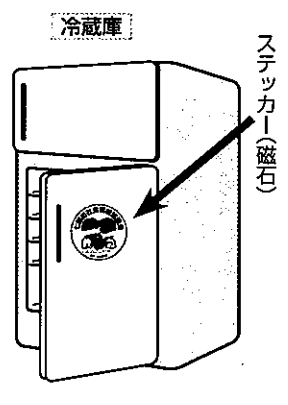
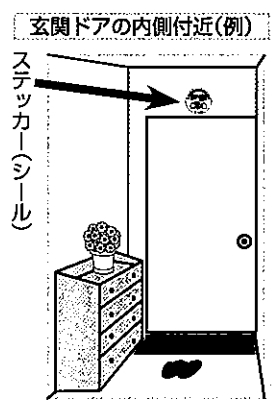
Q夫婦で申請したら2個もらえるの？

Aキットは一世帯1個です。夫婦の場合は、中に入れる医療情報用紙を2名分入れてください。

Q費用は？

A無料です。今回は500セット用意しました。

ステッカーを玄関ドアの内側付近と冷蔵庫に貼り付けます。



冷蔵庫に保管し、キットの入っている扉に貼ってください。

救急医療情報キット「命のボタン」に入れるもの

- ①救急医療情報シート
- ②本人の写真(免許証等写し)
- ③健康保険証の写し
- ④診察券の写し
- ⑤現在服用している薬の情報(薬の情報提供書、薬の空き容器)

